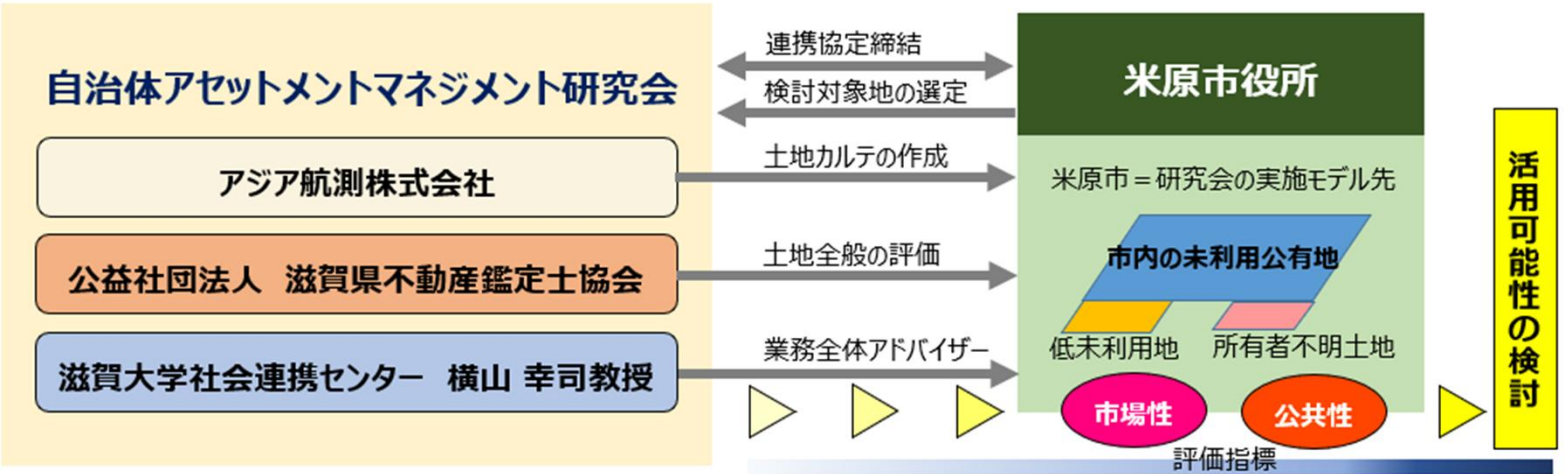


未利用公有地と周辺未利用地との一体的な利用による活用手法の検討(滋賀県米原市 米原市)

対象地域	対象地域の特性	地域が抱えている課題	主な取組内容
滋賀県 米原市 全域	新幹線などの鉄道網、高速のJCTとICなどの広域交通網が集積しており、京阪神、中京、北陸を結ぶ結節点として発展してきた。 一方で人口が減少傾向にあり、推計シミュレーションよりも減少幅が大きく、市内の空き家も10年で急増している。公有財産である約47万㎡の土地の30%程度が処分方針が明確でない暫定利用または未利用の状態である。	公共施設の統合集約等によって公的遊休不動産が発生している。 また、人口減少等による低未利用地の増加も課題。	●市内に存在する未利用公有地の分布状況の整理 ●未利用公有地の隣接及び周辺の土地利用状況の把握 ●一体的な活用の可能性がある未利用公有地を抽出。 ●活用の方向性及び効果の評価（公共性、市場性の観点から） ●未利用公有地と、隣接する低未利用地等との一体的な土地利用の利活用モデルの整理（地域や事業者へのヒアリングを実施し、必要な取組を整理）

事業内容・スキーム

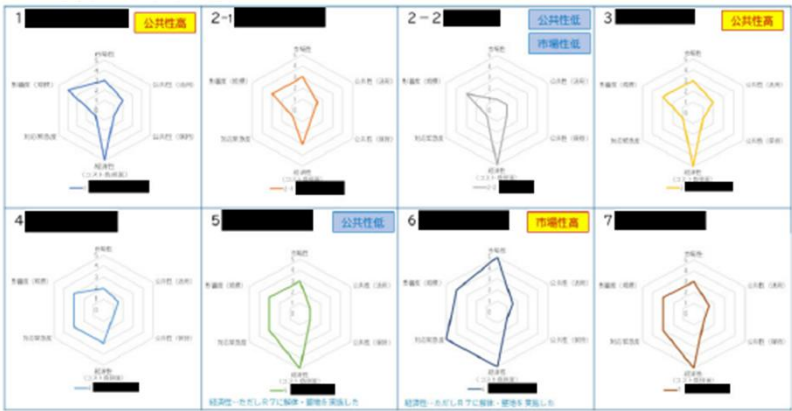
- 市内の未利用公有地等の分布状況として、位置、規模、形状、発生要因、周辺状況、敷地現況等を整理
- モデルとなりうる検討対象地を数か所選定の上、隣接・周辺の土地と一体的な活用の可能性がある未利用公有地を抽出する。この際、抽出基準を設け、一体的な利用を前提とした方向性および効果の評価
- 未利用公有地と、隣接する低未利用地等との一体的な土地利用の利活用モデルを整理



モデル事業による取組成果

検討候補地の選定と評価

7か所の未利用公有地を選定し、周辺状況も含めた現況把握と土地カルテのひな型案を作成した。
また、対象地の土地活用の方向性や効果の評価を行った。評価には指標（公共性、市場性等の観点）を設け、指標毎に数値化を行い、レーダーチャートで結果を示し、対象地の特徴の見える化を図った。



市場性・公共性等の評価のレーダーチャート(作成:米原市)

利活用ニーズ調査の実施

一部対象地でニーズ調査を実施。2件の問合せがあり、購入意向などのニーズがあることを把握。



写真: 対象地に設置した看板(撮影: 米原市)